

教 科		種 目	意見書	発行者
保健体育		保健体育		東京書籍

	着眼点	意 見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	○小見出しの下に設問が位置づけられ、学習者が主体的に学習に取り組むことができるようよく工夫されている。また、保健分野の技能について、命や健康を守るスキルを「巻末スキルブック」として掲載されており、QRコンテンツが豊富に用意されている。 ○時間ごとに「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という学習者の思考の流れにそって、わかりやすくまとめられている。 ○巻頭に「この教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が掲載されており、主体的に学習に取り組むことができるようによく考えられている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	○各章の扉には、小学校から高校までの学習内容が示されており、系統性のある指導ができるようによく工夫されている。 ○他教科や関連する学習内容がわかるようにマークで示されており、各章の扉には特別な教科道徳の内容項目が掲載されている。 ○他教科や学習内容に関連するQRコンテンツが豊富に用意されている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○「見つける」「課題解決」「活用する」の構成で小単元が構成されており、授業改善の視点がより明確になっている。 ○「見つける」では、日常生活などの自他の課題発見につなげるための発問がよく工夫されている。 ○「活用する」では、他者に説明したり、話し合ったりする活動がよく配慮され取り上げられている。
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○興味・関心に応じて学びを深め広げることができる資料やQRコンテンツが豊富に用意されている。 ○各章末には、繰り返し確認することができる章末問題のQRコンテンツが豊富に用意されている。 ○協働的な学習ができるように、話し合いの場面がより多く設定されている。
	(2) 今日的な課題に対する内容の充実（薬物、多様な性、がん、生活習慣病等）	○薬物乱用の恐ろしさを具体的にイメージし、正しい対処ができるようにするための資料やQRコンテンツが豊富に用意されている。 ○多様性の視点を重視した資料、写真、挿絵がより多く掲載されている。 ○中学生が生活習慣病やがんを自分事として捉え、自らの生活習慣について考えることができるような学習活動が設定されている。
	(3) ICTを活用した学習活動	○学習課題の共有や実感を伴った理解などを目的として、質の高い動画やシミュレーション、思考ツール、章末問題など、さまざまな学習場面で活用できるQRコンテンツが豊富に用意されている。 ○ICT機器を活用した学習場面が多く掲載されている。 ○巻末スキルブックには「健康に配慮したコンピュータの使用方法」がよりわかりやすく掲載されている。 ○教師用指導書付属として、指導者用デジタルブックの発行が予定されている。
3	(1) 教科書の大きさ、重量、ページ 等	○大きさ…AB (210×257) ○重量…379 g ○ページ数…198 p
	(2) 書体、フォント、行間、等	○キーワードを太字で表示 ・本文はユニバーサルデザインフォントを使用 ○色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面となっている。 ○行間は4mmとし、余白を大きくとっている。
	(3) 表やグラフ、写真等	○表やグラフ…6 9 ○写真…1 4 1

教 科		種 目	意見書	発行者
保健体育		保健体育		大日本図書

	着眼点	意 見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	○各時間の終末に「キーワード」が位置づけられ、学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。 ○各時間に「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」など、様々な活動が示され、思考力・判断力・表現力が育成されるようになっている。 ○「つかもう」の文章から、学習者が主体的に学ぶことができるような発問が示されている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	○各章の扉には、小中高の学習内容が示されている。 ○教科横断的な学習を図ることができるよう、「リンク」や「他教科」のマークから関連した学習内容が示されている。 ○指導内容を体系化し、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容について学習できるようになっている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○各章末の「学びを活かそう」では、「資料から読み取る」、「話し合う」など対話を通して思考を広げていく活動ができるように工夫されている。 ○導入と終末で生徒が主体的に学べるように発問が毎時間に設定されている。
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○正誤判定機能を搭載した CBT（WEB テスト）コンテンツを設け、効率的に個別学習を行えるようになっている。 ○課題に対して切実感や興味・関心を持てるように、生徒が実生活・実社会で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的・体験的な解決が図れるような工夫がされている。
	(2) 今日的な課題に対する内容の充実（薬物、多様な性、がん、生活習慣病等）	○多様な性については、心や体の発育・発達には、個人差があることを強調し、不安や悩みがあるときは相談できる窓口があることを示されている。 ○イラストなどは男女が同人数になるように配慮されている。 ○がんや生活習慣病などについて豊富な資料を用意されている。
	(3) ICTを活用した学習活動	○学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、ウェブコンテンツ「中学校保健体育 WEB」を用意し、対応するページにマークとQRコンテンツが付けられている。 ○動画、読み物、外部リンクなどを豊富に用意して、最新の情報を使って中学校保健体育の学習を進められるようになっている。
3	(1) 教科書の大きさ、重量、ページ 等	○大きさ…AB 変形（202×257） ○重量…431 g ○ページ数…194 p
	(2) 書体、フォント、行間、等	○キーワードを太字で表示 ・本文はユニバーサルデザインフォントを使用 ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面となっている。 ○行間は 3 mm である。
	(3) 表やグラフ、写真等	○表やグラフ…6 9 ○写真…1 4 1

教 科		種 目	意見書	発行者
保健体育		保健体育		大修館

	着眼点	意 見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	○本時の課題を「きょうの学習」の欄に位置付け、重要語句をキーワードとしてまとめている。 ○「章のまとめ」には、資質・能力の三つの柱ごとに分類した問題が示されている。 ○「特集資料」には、学んだことを社会や生活に広げるとともに、さらなる学びへの意欲を高める工夫がされている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	○各章の扉に「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」が示されている。 ○他教科と関連する内容についてマークが示され教科横断的な視点で学習が進められるように工夫されている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○各章・各項目に「つかむ」→「身に付ける・考える」→「まとめる・振り返る」の授業構成になっている。 ○「課題をつかむ」では、これまでの学習を振り返ることや、学習の見通しをもつことができるように工夫されている。 ○「学習のまとめ」では、言語活動やグループ討議ができる内容になっている。
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○各学習項目の最後の「学習のまとめ」では、学習過程で身につけた見方・考え方を確認したり、次の学びにつなげたりするなど、実生活や実社会で活用することができるように配慮されている。
	(2) 今日的な課題に対する内容の充実（薬物、多様な性、がん、生活習慣病等）	○人物イラストの男女比率や役割に偏りのないようにしてある。また、様々な人との関わりを写真やイラストで示して、多様な他者との共生・協働が大切であることを理解できるようにしてある。 ○がんの予防から早期発見、回復までを全4ページで扱い、「特集資料」ではがんに関する資料を多く取り上げられている。
	(3) ICTを活用した学習活動	○「動画コンテンツ」「Web 保体情報館」（調べ学習に役立つサイトの紹介）「Web ワークシート」「保体クイズにトライ!」の4つのデジタル教材を用意し、タブレット等を活用した授業が展開できるように工夫されている。
3	(1) 教科書の大きさ、重量、ページ 等	○大きさ…AB (210×257) ○重量…416 g ○ページ数…206 p
	(2) 書体、フォント、行間、等	○キーワードを太字で表示 ・本文はユニバーサルデザインフォントを使用 ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面となっている。 ○行間は4mmとし、余白を大きくとっている。
	(3) 表やグラフ、写真等	○表やグラフ…6 9 ○写真…1 4 1

教 科		種 目	意見書	発行者
保健体育		保健体育		学研

	着眼点	意 見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	○各時間の終末に「学びを生かす」が位置づけられ、学習内容を確認できるようになっている。また、ストレスの対処や心肺蘇生法などの技能がQRコンテンツを活用して学ぶことができるように工夫されている。 ○各章の扉に、学びたいことや学んだことを絵や文字で表現できるようにスペースが設けられている。 ○巻頭の「この教科書の使い方」に教科書の構成と学習の流れが掲載され、時間ごとに自己評価を記録できる欄が設けられ、主体的に取り組むことができるようになっている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	○各章の扉に小中高の系統的な学習内容に配慮がなされ、小学校と高校の学習内容が示されている。 ○「キーワードで見る保健体育の学習内容」から、各教科と関連させながら横断的に学ぶことができるようになっている。 ○特別の教科道徳の内容について、保健体育の学習との関連について示されている。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○各時間の冒頭に「ウォームアップ」を設け、興味・関心を高めるような発問がより工夫されている。 ○各時間の終末に「学びを生かす」を設け、保健体育の「見方・考え方」を働かせて学習ができるようにしている。
2	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○口絵で保健体育の学びのイメージを持てるようにし、自分自身に関わる課題や、他者や地域・社会などとの関わりを示し、運動や健康について自他の課題を発見・解決していくことを表している。 ○自身の体験や生活に基づいた課題や、学習したことを自身の生活改善や実践につなげられる課題を随所に設け、個別最適な学びに生かすことができるよう、よく配慮されている。
	(2) 今日的な課題に対する内容の充実（薬物、多様な性、がん、生活習慣病等）	○薬物乱用の防止について、写真などを用いて詳しく扱っている。 ○多様な性の在り方に配慮し、文章が記述されている。イラストは、男女比率、役割などに偏りなく表現されている。 ○がんとその予防についての基本的な知識を、豊富な資料を基に、科学的に理解できるよう工夫されている。
	(3) ICTを活用した学習活動	○動画やデジタル教材、資料、ワークシート、参考になるリンクなどを、学習内容と適切に関わるものを精選し、QRコンテンツから参照して利用できるようにされている。 ○学習内容と適切に関連させながら、学習の参考となるようにICTを活用する場面が例示されている。
3	(1) 教科書の大きさ、重量、ページ 等	○大きさ…AB (210×257) ○重量…410 g ○ページ数…206 p
	(2) 書体、フォント、行間、等	○キーワードを太字で表示 ・本文はユニバーサルデザインフォントを使用 ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面となっている。 ○行間は4mmとし、余白を大きくとっている。
	(3) 表やグラフ、写真等	○表やグラフ…5 6 ○写真…1 2 9